

四三五〇番

庭中の足羽の神に 小柴さし 我は齋はむ 歸  
庭中にはなかの 足羽あすはの神かみに 小柴こしばさし 我あれは齋いははむ 歸かへ  
り来くまでに

四三五一番

旅衣 八重着襲ねて 寝ぬれども なほ肌寒し  
妹いもにしあらねば  
旅衣たびころも 八重やへ着き襲かさねて 寝いぬれども なほ肌はだ寒さむし

四三五二番

道のへの 茨の末に 延ほ豆の からまる君を  
はかれか行かむ  
道みちのへの 茨うまらの末うれに 延はほ豆まめの からまる君きみを  
はかれか行ゆかむ